

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

試料・情報の 利用目的及び 利用方法	研究の名称 好中球減少症におけるテイコプラニンの薬物動態に関する後ろ向き観察研究
	研究の対象 浜松医科大学医学部附属病院に2013年1月から2026年9月までの間に入院し、テイコプラニンの投与を受けた18歳以上の方
	研究の目的 好中球減少症とは、抗がん剤の投与などの影響で、白血球の一種である好中球が血液中から減少してしまう状態です。このような患者さんは感染症にかかりやすくなってしまいうため、抗菌薬（抗生物質）を投与することが多くあります。 テイコプラニンは耐性菌などに用いられる抗菌薬の一種で、採血をすることで血液中の薬の濃度を測定しながら、患者さんごとに投与量を調節して使用します。好中球減少症の患者さんとそうでない患者さんでは、テイコプラニンの血中濃度が異なる可能性があります。これまであまり検討されていませんでした。 そこで、この研究では、これまでにテイコプラニンの投与を受けた患者さんの情報をカルテから収集し解析することで、好中球減少症がテイコプラニンの血中濃度に影響するかを検証し、好中球減少症の患者さんに適したテイコプラニンの投与方法を検討することを目的としています。
	研究の期間 研究機関の長による実施承認日から2026年9月まで
	他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。
利用し、又は 提供する試 料・情報の項目	研究に使用する試料・情報 情報：年齢、性別、体重、病歴、治療歴、腎機能に関する検査値、テイコプラニンの投与量および血中濃度に関する情報、等

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

<p>利用する者の範囲</p>	<p>機関名および責任者名 浜松医科大学 薬剤部 八木達也</p>
<p>試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称</p>	<p>浜松医科大学 薬剤部 八木達也</p>
<p>試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止(受付方法含む)</p>	<p>あなたの情報を研究に使用することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールをお願いします。</p>
<p>資料の入手または閲覧</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>情報の開示</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 薬剤部 担当者： 八木達也 TEL： 053-435-2767 E-mail： yagi5922@hama-med.ac.jp</p>